

はじめに

化学療法とは、主に抗がん剤を点滴、内服する治療法です。多くの場合、抗がん剤を投与すると、副作用が現れることがあります。これは、薬ががん細胞を攻撃するときに、一部の正常細胞も傷つけてしまうからです。もちろん正常な細胞は、治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。

大事なことは、予想される副作用を患者さん自身が理解し、その対処をすばやく行うことです。特に外来で治療をうけられる方は、自宅で自覚症状を観察し、ご自分の体の変化に関心を向けることによって早期発見や対処が可能になってきます。そして変化に気づかれたら、主治医や看護師、薬剤師に相談してください。重い副作用を防ぎ、安心して日常生活を送ることができるよう、一緒に対処していきましょう。

副作用は抗がん剤の種類によっても違いますし、個人差もあります。この冊子は、抗がん剤の副作用の基本的なものをまとめたものです。さらに、化学療法を受ける患者さんに注意していただきたいことや、副作用をできるだけ軽くするために日常生活の中でできる工夫が書かれています。

私たちは皆様ができるだけ安心して治療が受けられるように対応しておりますので、お気づきの点は遠慮なく医師、看護師、薬剤師にご相談ください。



いつも近くに医療スタッフがいます。心配な事、わからない事、ちょっと気になること、何でも相談して下さい。

